



ドーピング(doping)で禁止されている薬



**ドーピングとは？**

ドーピングとは競技能力を高めるために薬などを使用することで、ルールで禁止されています。

理由は、「競技者の健康を害する」「フェアプレー精神に反する」等です。

オリンピックなどで一流選手が時々話題になっていますが、近年は、国体や高校のインターハイでも検査が行なわれるなど、「うっかりドーピング」を防ぐため、全ての競技をする人に意識を持ってもらおうという時代になってきました。



**どんな薬が「禁止リスト」に載っているのか？**

禁止リストには、医師が処方する薬や市販薬にも含まれる成分もあります。

○ **処方薬**：(1)喘息の内服薬・吸入薬、(2)痛風でのプロベネシド(尿酸排泄剤)、(3)高血圧のベータ遮断剤・利尿剤など。禁止物質以外の薬で代替できるか医師にご相談ください。喘息薬など治療のために禁止物質がどうしても必要な場合には、申請すれば除外措置もあります。

(JADA(日本アンチドーピング機構)のサイト[http://www.anti-doping.or.jp/testing\\_tue.php](http://www.anti-doping.or.jp/testing_tue.php))

○ **市販薬**：風邪薬に含まれる**エフェドリン**、**メチルエフェドリン**(葛根湯など一部の漢方薬に含まれる**麻黄**)で、競技会3日前までには服用を止めましょう。また、胃腸薬の**ストリキニーネ(ホミカ)**、便秘薬の**カンナビノイド(麻子仁:マシニン)**、滋養強壮薬の**テストステロン**など。

不明な場合は、薬剤師にご相談ください。

○ **栄養ドリンク剤**：海狗腎(カイクジン)、鹿茸(ロクジョウ)を含むもの



**<常に禁止される医薬品>**

|             | なぜ禁止か？              | 主な薬(ここに挙げた以外のものもあります)                          |
|-------------|---------------------|--|
| 蛋白同化薬       | 筋肉を増強させる            | ボンゾール、プリモボラン、エナルモン、スピロペント等                     |
| ホルモン関連      | 持久力、筋肉を増強           | エスポー、ジェノトロピン、ゴナトロピン、インスリン等                     |
| β2作用薬       | 興奮、筋肉を増強            | 気管支拡張薬(気管支を拡げる薬。喘息等に用いられる)                     |
| 抗エストロゲン作用薬等 | 筋肉増強(筋肉増強の抑制を阻害)    | アリミデックス、フェマーラ、アロマシン、エビスタ、ノルバデックス、フェアストン、クロミッド等 |
| 利尿薬等        | 尿量増加で禁止薬物を隠す。無理な減量。 | ダイアモックス、ラシックス、ナトリックス、アルダクトン、トリレレン、ベネシッド等       |

**<競技会時に禁止となる医薬品>**

|          |                      |   |
|----------|----------------------|---|
| 興奮薬等     | 疲労感を軽減する分、疲労の限界を超える。 | 塩酸コカイン、モディオダール、ボスミン、エフェドリン、エホチール、メチエフ、リタリン、ベタナミン、エフピー、ホミカエキス等 |
| 麻薬       | 陶酔感等を期待              | モルヒネ等麻薬の他、非麻薬のレペタン、ペンタゾシン等も                                   |
| 糖質コルチコイド | 競技力向上、陶酔感等           | 副腎皮質ホルモン  |

その他、特定の競技によっては、アルコールのほか、高血圧や緑内障等の治療で使われるベータ遮断薬(テノミン、インデラル、アーチスト、ミケラン、チモプトール等)も禁止されている場合があるので、注意が必要です。

※詳しい薬品名についてはこちらをご覧ください。

JADA「禁止表」:[http://www.anti-doping.or.jp/downloads\\_list.php#](http://www.anti-doping.or.jp/downloads_list.php#)